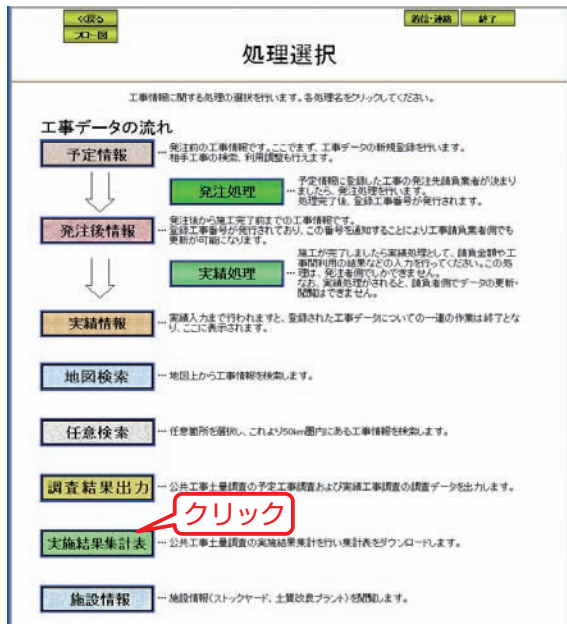


【建設副産物・発生土情報交換システムの新機能 シリーズ5 / 5】

発生土システムの集計機能



画面-1 トップ画面

最終回では、発生土システムの集計機能を紹介します。この機能は、自発注工事についてリサイクルに関する量や率を算出するもので、公共工事等のとりまとめ担当者（協会）と発注者が利用できます。

画面-1は発注者の場合のトップ画面で、「実施結果集計表」をクリックすると、一旦、集計する範囲（工事場所・施工時期）や帳票を選択する画面に遷移し、これらを確定することで当該帳票を出力します（画面表示、Excelファイル作成）。

表-1はその代表的な帳票で、国土交通省が実施する建設副産物実態調査（センサス）において、建設発生土に関する基本的な指標としている「利用土砂の建設発生土利用率」（搬入ベース）のExcel出力イメージです。

また、表-2は出力可能な全5帳票で、搬出ベースの「建設発生土の工事間利用率」を算出することもできます。

表-1 集計帳票の出力イメージ例

実施結果集計表 利用土砂の建設発生土利用率(再生砂を除く)

【検索条件】(機関名):工事発注機関 国土交通省○○地方整備局 (施工場所):指定なし(土工期):200904~201003

発注機関名	利用土砂の建設発生土利用率(%)	総搬入工事件数	総搬入土工数	総搬入土量(m ³)	工事間利用(m ³)	土質改良プラント(m ³)	建設汚泥処理土(m ³)	その他(m ³)	新材利用(m ³)	搬入土砂利用計(m ³)	現場内利用(m ³)	他工事の建設汚泥を直接利用(m ³)
○○河川国道事務所	82.7	8	11	71,780	59,380	0	0	0	12,400	71,780	0	0
○○砂防事務所	100.0	4	5	8,830	8,830	0	0	0	0	8,830	0	0
○○ダム工事事務所	100.0	1	1	430	0	0	0	0	0	0	430	0
○○ダム管理所	100.0	1	1	1,840	1,840	0	0	0	0	1,840	0	0
合計	85.0	14	18	82,880	70,050	0	0	0	12,400	82,450	430	0

表-2 出力可能な帳票の種類

区分	帳票タイトル	備考
工事間利用	搬入ベース	利用土砂の建設発生土利用率(再生砂を除く)
	搬出ベース	建設発生土の工事間利用率
工事間利用未実施	工事間利用の実現しなかった理由の集計	工事数、土量
登録状況	予定・発注後	予定工事調査の登録状況集計
	実績	実績工事調査の登録状況集計

問い合わせ

JACIC 建設副産物情報センター
<http://www.recycle.jacic.or.jp>
 TEL : 03-3505-0410 (副産物システム)
 03-3505-0416 (発生土システム)
 FAX : 03-3505-0520
 E-mail : recycle@jacic.or.jp
 【電話での受付時間】
 AM 9 : 30 ~ PM 5 : 30 (土日、祝祭日を除く)

副産物・発生土システムの新しい機能について、5回シリーズで紹介させていただきました。関係の皆様の一層のご利用をお待ちしております。

引き続き、使いやすいシステムを目指してまいりますので、ご意見等をいただければ幸いです。

(建設副産物情報センター長 田山成一)